

おひさま

発行：社会福祉法人えどがわ
東京都江戸川区一之江 3-2-2-205
発行責任者：法人事務局

2016年12月25日
第17号



自然に興味を持ちましょう

社会福祉法人えどがわ

副理事長 秋山 秀阿

(江戸川区認可私立保育園園長会会長)

(光徳保育園園長)



今年の夏はとても暑く、この暑さが続くと思っていたら、急に秋を迎え、直ぐに冬の訪れを感じる、季節の流れの早さに驚いたのは、私だけでしょうか？暑かった夏、園庭には、さまざまな昆虫がやってきました。子ども達の反応もさまざまでした。その反応から、特にトンボに興味や関心を持っていた子どもと自然との具体的な関わりや行動について考えてみました。

赤トンボ、シオカラトンボ、ムギワラトンボと、さまざまなトンボが飛んできて、園庭の池に降りてきます。水面に尻尾を叩くようにしている。とにかく、トンボが来ると「ワァーッ」と遮二無二近づいていく子ども、そっと静かに近づいていく子ども、虫取り網がないか先生に聞きに来る子ども、卵を産んでいるのだと解説する子ども、いろいろです。

子どもの興味や関心は、「興味」は「おもしろい」という情動で行動し、「関心」は「お

もしろい」という情動に加えて、知的な追求が現れ、行動にゆとりが出てくると考えてみるようになります。

飛んできたトンボにどれだけ気づくのであろうか、飛んできたトンボにいろいろな反応を示す子どもたちは、追いかけて行くことだけに興味が終わってしまうのであろうか、それとも、その先にトンボが水面でどう動くのかを見ていることができるのでしょうか。その子どもの興味や関心に大人がどう関わっていくのかによって、子どもが知的な追求、つまり観察するとか、図鑑を持って調べる等の行動が出てきます。知っているとトンボが飛んできたとき、水面に尻尾を叩くようにしている様子が何なのか、次への関心へとゆとりが持てると思います。

このような自然との関わり方としては、「興味」から「関心」へという移行が必要になります。子どもの自然の教育の究極は、自然との触れ合いを楽しみつつ、自然の仕組みを知ることにあります。自然の仕組みを知ることが、新しい自然への興味を掻き立て、より深く自然の仕組みを知ろうとする働きかけを起こしていくことに大人である私達が心掛けていきたいものです。



さわやか体育祭に参加しました



10月27日、海風が吹き抜ける江戸川陸上競技場にて行われた、第44回さわやか体育祭に参加しました。今回は、おひさま保育園19園の5歳児クラスが参加しました。3世代が参加する歴史ある行事であり、その規模には驚くばかりでした。続々と到着する子どもたちの「おはようございます！」という気持ちの良い挨拶に嬉しさと心強さを感じました。

開会式は、少し緊張した面持ちの子ども達でしたが、江戸川区歌を歌い、準備体操をしているうちに徐々に笑顔が見られるようになりました。おひさま保育園の見せ場、パラバルーンの演技では、子どもたちが勢いよく駆け出し、準備する姿、「がんばるぞー！おー！」と掛け声をあげる姿、息をぴったり合わせ、パラバルーンの技を披露する姿にお客さんからの温かい拍手を多くいただくことが出来ました。演技後の子ども達が皆一様に笑顔をみせてくれたのが印象的でした。

参加した子ども達はさわやか体育祭を通し、さまざまな世代の方との交流を体験出来たことと思います。この日に向け、夏から打ち合わせやバルーンの練習を重ねた担当職員の連携があっこそ、子ども達の多くの笑顔が見られたのだと実感しております。改めて、社会福祉法人えどがわのパワフルさを感じることが出来ました。最後に、お忙しい中、観覧していただいた保護者の皆様、関係各所の皆様、本当にありがとうございました。来年度も子ども達の笑顔を引き出せるような行事としていきたいと思っています。

清新おひさま保育園 宮崎 裕太郎

祝 平成28年度東京都功労者表彰・区政功労者表彰

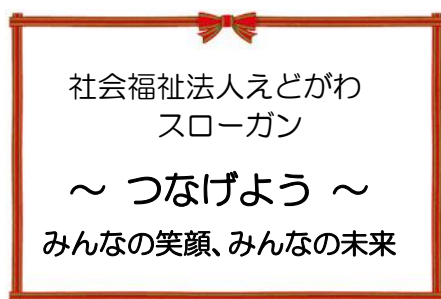
理事 露木 正道先生におかれましては、長年にわたり東京都の福祉に貢献された実績が称えられ、福祉・医療・衛生功労の分野において東京都功労者表彰を受賞されました。

また、評議員 杉 榮一先生におかれましては、長年にわたり江戸川区の区民の生活と文化の向上に尽くされた功績が称えられ、衛生・社会福祉その他公共の事業の分野において区政功労者表彰を受賞されました。

職員一同、お慶びいたします。おめでとうございます。



スローガンを制定しました



社会福祉法人えどがわに親しみを持っていただけるようスローガンを制定しました。

職員に募集を行い、130 作品の中から決定したスローガンは、“人と地域と、そして未来へとつながっている法人へ・・・”という願いが込められています。スローガンのもと、更に力を合わせ進んでいきます。

法人事務局が移転しました

12月15日に法人事務局が一之江に移転しました。新事務局は一之江駅から徒歩2分にあるビルの2階にあります。（国道環状七号線と今井街道の交差点）

近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。お待ちしております。



- 住所：東京都江戸川区一之江
3-2-2-205（一之江Sビル）
- TEL：03-5678-5031
- FAX：03-5678-5032

なお、メールアドレス、ホームページ URL の変更はありません。



おひさま TOPICS

『ほのぼの交流会』 葛西おひさま保育園



ほのぼの交流会は晴天に恵まれ、おじいさん、おばあさんが大勢足を運んでくださいました。クラスごとに子ども達と一緒に伝承遊びや触れ合い遊びを行い、楽しいひと時を過ごしました。5歳児は、全員に向けて歌を披露しま

した。中には子ども達の成長を感じ、涙を流す方もいらっしゃいました。その後の会食では、子ども達が心を込めて描いたランチョンマットに驚き、自然と笑顔になっていました。

おじいちゃん、おばあちゃんと触れ合うことによって、思いやりや優しさのあり方を学ぶことができると思います。遠くに住んでいて、なかなか会うことのできないという方も成長を間近で感じ、子ども達が日頃の感謝を伝えるいい機会でもあります。今後も大切にしていきたい行事の1つです。

和田 枝里香

『ハロウィン』 北葛西おひさま保育園



子ども達が楽しみにしている秋の行事の中にハロウィンがあり、外国の文化に触れ、異年齢児交流を進めています。北葛西おひさま保育園では、ジャックオーランタンとかぼちゃの飾りを玄関に飾り、鑑賞したり、10月31日には子ども達が作った衣装を身に着け、ゲームを楽しみます。子ども達がオバケや

ドラキュラに可愛く変身すると、パーティーの始まりです!!クラスごとに衣装を見せ合い、グループに分かれてスタンプラリーゲームに参加します。宝探しゲーム、影当てゲーム、何が通ったかなゲームで正解するとスタンプとラムネを貰えるので子ども達も真剣です。「トリック・オア・トリート」、「ハッピーハロウィン」と可愛らしい声が聞こえてきて、大盛り上がりの1日でした。また、英語あそびでは、トム先生によるハロウィンパーティも行われ、子ども達も職員も仮装し、英語の曲に合わせダンスを踊りました。

主任 芹口 恵子

おひさま TOPICS

『七五三』 東小松川おひさま保育園



11月15日は、七五三。保育園でも祝い会を行いました。毎年、千歳飴袋を作る子ども達。袋作りをしながら、祝い会を楽しみにしていました。当日は、七五三の由来や、なぜお祝いをしたり千歳飴を食べたりするのかなどの話を聞くと、子ども達からは「元気に過ごせるように」「長い飴みたいになんてずっと長生きできるように」と声が聞こえてきました。

自分達が作った飴袋の発表では、代表児がクラスごとに作り方を話しました。和紙を染めたり、七五三の文字を丁寧に書いたり、鶴や亀を折り紙で折ったりと世界にひとつ自分だけの袋に子ども達も嬉しそうな表情でした。給食もお祝いメニュー、大きなエビフライに「美味しそう、大きいね！！」と大喜びでした。夕方お迎えの時間には、「見て！千歳飴だよ。袋も作ったの」と得意気な様子。保護者の方も「素敵な袋だね。上手にできたね。」と親子の会話もいつも以上に弾んでいました。

七五三は、子どもの成長と福運を祈願する行事です。日本の伝承行事として、これからも子ども達に伝えていきたいものです。 副園長 荒 行子

『相撲体操』 松島おひさま保育園



松島おひさま保育園は、日本相撲協会伊勢ノ海部屋の甲山親方を講師として月に1回幼児を対象として相撲体操を行っています。

相撲道は、「礼に始まり礼に終わる」の精神で親方が前に立つと整列し子ども

たちは「お願いします」と元気に挨拶してから始まります。相撲体操は四股・鉄砲すり足の基本動作から作られ身体のバランスや集中力を養い、大人から子どもまで親しみやすく、楽しみながら健康維持が出来るということです。親方が掛け声を掛けると真似をして真剣な顔をして行っていますが、親方が関西弁褒めたり話しかけると、子どもたちは笑顔で応えています。相撲体操を始めてから少しずつではありますが、子ども達の体感が鍛えられつつあるようで、嬉しく思っています。

園長 小笠原 晴子

おひさま TOPICS

『消防署見学』 松江おひさま保育園



10月21日に幼児クラスの子も達と近くにある江戸川消防署まで歩いて見学に行きました。近くで消防車やはしご車、消防隊員が訓練をする姿を見られるということで、朝から楽しみにする子ども達。到着して訓練が始

まるまで、近くにいる隊員にたくさん質問をし、興味津々で話を聞いていました。消防訓練が始まると隊員の素早い動きや真剣な姿に子ども達は夢中になって眺めていました。そして、はしご車のはしごがぐんぐんと上がっていくと「うわー」「すごい」という声を上げ喜んでいました。

実際に消防署に見に行ったことで火の危険や知識、消防隊員の仕事について知ることができ、身近に感じることができました。今後もこのような機会を通して地域と密着した保育を進めていきたいと思います。

吉成 香

『歩き遠足』 南葛西おひさま保育園



南葛西地区は、沢山の公園や葛西臨海公園、総合レクリエーション公園が近くにあり、自然に恵まれた地域です。爽やかな秋晴れの10月20日、楽しみにしていた歩き遠足に行ってきた。今回は公園で思い切り遊んだ後、園に戻り、園庭でお弁当を食べる工程。日頃から親しみのあるポニーランドま

で歩き、フラワーガーデン行きのシャトルバスに乗りました。友だちと一緒にシャトルバスから眺める景色は一段と素敵に見えたようです。自然の中で沢山遊んだ後は、保育園目指して帰りますが、「お腹が空いたー。」と、お家の方が用意してくださったお弁当を励みに頑張って帰園しました。園庭に敷かれたブルーシートに座り、そっとお弁当箱の蓋を開けると、「先生、見て。」と歓喜の声が！愛情たっぷりのお弁当を前に、疲れも忘れてしまったようです。真心が込められたお弁当を頬張り、「美味しい！毎日遠足がいいな。」と楽しかった時間を思い出し、楽しい1日を過ごしました。

新垣 文江

給食だより

身体の中から労わって元気に過ごしましょう！



年末年始は美味しいものを沢山食べる機会が増えますね。
胃もたれや胸やけした時は、暴飲暴食やカフェイン・刺激物を控えて胃を休め、消化に良い物を食べましょう。どんな野菜があるのかな？

消化に良い食べ物は？？

- キャベツ …胃の粘膜を保護する成分を含んでいます。食べ物を消化しやすい環境にします。生でも加熱しても成分は変わらないので、サラダやお味噌汁などにして食べると良いです。
- 大根 …消化酵素が沢山含まれています。胃もたれ解消には是非取り入れたい野菜です。消化酵素は熱に弱く、加熱すると壊れやすくなります。おろしなど、生で食べると効果がアップします。
- 山芋 …消化を助け、栄養の吸収を促進します。胃もたれを解消し免疫機能も高めます。すりおろしてそのまま食べましょう。

給食室の人気メニュー

【材料】4人分

(大人2人・子ども2人)

- ・鮭100g：2枚
- ★生姜：一かけ
(すりおろし)
- ★味噌：5g
- ★砂糖：3g
- ★醤油：3g
- ★みりん：3g
- ★酒：3g
- ・ごま油：3g
- ・キャベツ：60g
- ・玉ねぎ：40g
- ・人参：15g
- ・コーン：15g
- ・えのき：20g
- ・椎茸：20g

- ☆砂糖：3g
- ☆酒：3g
- ☆醤油：3g
- ☆味噌：7g
- ☆みりん：2g
- ・バター：5g

【作り方】

- ①鮭を★の調味料で下味をつけておきます。
- ②キャベツ・人参は太めの千切り、玉ねぎは5mm、きのこ類は食べやすい大きさに切っておきます。
- ③ホットプレートで250度に熱し、ごま油をひき、①の鮭を色が付くまで焼きます。
- ④③の鮭のまわりに野菜を広げるように入れ、蓋をします。温度を160度にセツし、5～6分蒸し焼きにします。
- ⑤キャベツがしんなりしたら、混ぜ合わせておいた☆をまんべんなくかけて、野菜に絡めます。最後にバターを入れて完成。

鮭のチャンチャン焼



リレー随筆



大人になった今、ふとした時に何かの香りや音、景色に心揺さぶられ、幼い時の体験を懐かしく思い出す時があります。皆さんにもきっとこのような経験があると思います。私は、土手に沢山咲いているシロツメクサを摘んだこと、水際で穴に棒をさし、カニを捕まえたこと、空き地で友達とゴムとびや馬乗り、缶けりに興じたこと、加えて祖母のいる田舎で過ごした思い出もたくさん。山歩きをして川のせせらぎの砂底に大きな葉っぱを敷き、手で水をすくって飲んだり、川の水のとうとうと流れる音や洞穴で冷や

したスイカを食べたこと、夜中に雪が降り、ずんずんと本当に音がするかのようには積もる様子に驚いたこともあります。この昔の話に共通するのは遊びの中で五感を使い、実際に体験したということです。

子どもたちと過ごす中、自然を感じながら遊びを通して興味や関心、旺盛な好奇心に添えていくことを大切にしていきたいと考えています。散歩で歩いた土手の風や園庭の落ち葉の色、縄跳びを飛んだ時の汗、給食室からのおいしそうな匂い、寒い朝に砂場に張った氷の冷たさなど、保育園の何気ない日常での体験、感じたものが原体験となって、子どもたちの感覚や思想の源になってくれたらと願っています。

松本おひさま保育園
園長 杉本 奈緒美



研修に参加しました



法人のリーダー研修として、「コミュニケーション能力アップ」研修に参加させていただきました。この研修は、私の苦手とするディスカッションを通して相手に伝えることの難しさや実際自分はどのように伝えていたのかを振り返る良い機会となりました。特に指示の4要素。誰が何を

いつまでにどうするという点。こちらが伝えたいつもりでも相手が正しく理解していないと指示が完了しないということを知り、日常の会話や仕事の伝達、保護者とのやり取りを振り返りながら「・・・ばなし」「・・・かもしれない」という曖昧な言葉掛けをしていたことを反省しました。相手に伝わったことをきちんと確かめることがトラブルを生まないポイントということを念頭に置きながら話す時には筋道を立て、共感し、納得させる力を今後も身に着け後輩へも伝えていきたいと思いました。

葛西第二おひさま保育園
佐藤 奈美

編集後記

平成28年を振り返ると、オリンピック、パラリンピックの日本人選手の活躍にたくさんの勇気と感動をもらい、努力することの大切さを感じた1年となりました。

平成29年がみなさまにとって、よい1年となりますように。

編集委員

